

甘味資源作物生産性向上緊急対策事業

【1, 550百万円】

対策のポイント

さとうきびやかんしょの生産性向上を図るため、農業機械導入や自然災害に強い品種への転換等の取組を支援するとともに、製糖工場の労働効率を高める取組等を支援します。

<背景/課題>

- ・さとうきび、かんしょは沖縄県及び南九州において地域経済を支える基幹作物ですが、機械化が遅れていることや自然災害の有無により生産コストが大きく変動するなど、生産性の向上・安定化の取組が必要です。
- ・また、さとうきびとともに、地域経済・地域雇用を支える製糖工場では、慢性的な労働力不足が生じており、労働効率を高める取組が必要です。

政策目標

- さとうきびの生産量を増加
(116万トン(平成26年度)→153万トン(平成37年度))
- かんしょの生産量を増加
(89万トン(平成26年度)→94万トン(平成37年度))

<主な内容>

1. さとうきび等生産性向上緊急対策事業

(1) さとうきび生産性向上支援事業

さとうきびの生産性向上を図るため、ハーベスタや株出管理機等の農業機械の導入や自然災害に強い品種への転換等、島ごとの実情に応じた取組を支援します。

〔補助率：リース料の6/10以内、定額〕
事業実施主体：生産者組織等

(2) 分みつ糖工場労働効率向上支援事業

製糖工場における働き方改革への対応や慢性的な労働力不足の改善に向けて、人員配置の改善の検討など労働効率を高める取組を支援します。

〔補助率：定額〕
事業実施主体：県域以上の民間団体等

2. かんしょ生産性向上緊急対策事業

かんしょについて、近年の低温・寡照の影響等による収量の低迷からの回復を図るため、適期作業による収量増加などを可能とするマルチ栽培を行う機械の導入等を支援します。

〔補助率：物件相当額の1/2以内〕
事業実施主体：生産者組織等

[お問い合わせ先：政策統括官付地域作物課 (03-3501-3814)]

甘味資源作物生産性向上緊急対策事業

【平成29年度補正予算額：1,550百万円】

目的・概要

- ◆ 甘味資源作物は、台風常襲地帯の沖縄県、鹿児島県等の基幹作物で地場産業である製糖工場等と共に地域経済と地域雇用を支える存在となっているが、機械化の遅れや慢性的な労働力不足が顕在化しており、他産業と比べて生産性の向上が特に必要な分野。
- ◆ そのため、
 - ① 地域の核となるさとうきびの担い手に対しハーベスタなどの農業機械等のリース導入
 - ② かんしょについて、マルチを使った早植えや、機械化体系の導入による生産の省力化
 - ③ さとうきびについて、台風、干ばつ、病害虫発生等自然災害に強い品種や機械収穫に適した品種へ転換
 - ④ 製糖工場において、人員配置の改善の検討など労働効率を高める取組等を支援し、生産性を飛躍的に向上させる。

対策

生産者向け

生産構造改革

さとうきび、かんしょの産地において、生産性向上を図るために必要となる農業機械等のリース導入を支援。

取組例

<さとうきび>

適期植付、適期株出管理を行うため、収穫機と株出管理機等を一体的に導入



収穫機

<かんしょ>

適期に作業を実施するため、マルチ張り機や挿苗機等の導入を支援し、収量増加を推進



マルチ張り機

生産技術向上

さとうきび産地において、自然災害に強い品種への転換等島ごとの実情に応じた生産性向上の取組を支援。

取組例

<さとうきび>

地域条件に適応した優良品種の計画的普及



採苗ほ

製糖事業者向け

働き方改革への対応や慢性的な労働力不足の改善に向けて、人員配置の改善の検討など労働効率を高める取組を支援。

取組例

<甘しや糖工場>

工場診断等により、省力化や自動化できる工程の検討、人員配置の改善の試行的取組



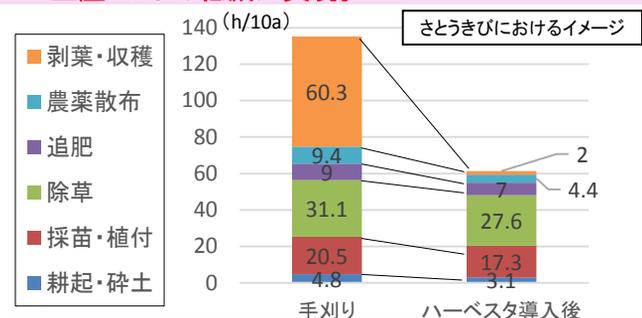
労働力の効率化

効果

<生産者>

機械化一貫体系推進や生産技術が向上することで、省力化や作業の共同化等により労働時間が減少。

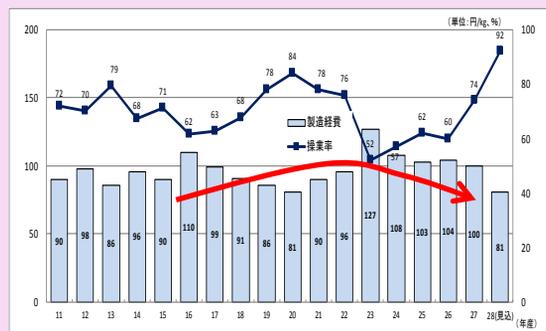
→ 生産コストの低減が実現。



<製糖事業者>

製糖工程の労働効率の向上

→ 製造コストの削減、操業の安定化が実現。



地域の担い手と機械化一貫体系を核に規模拡大による生産コスト低減、製糖工場の生産性向上・労働力不足の改善を推進